

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2003-205678(P2003-205678A)

【公開日】平成15年7月22日(2003.7.22)

【出願番号】特願2002-350894(P2002-350894)

【国際特許分類】

|                |             |                  |
|----------------|-------------|------------------|
| <b>B 4 1 M</b> | <b>5/00</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>B 4 1 M</b> | <b>5/50</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>B 4 1 M</b> | <b>5/52</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>B 4 1 J</b> | <b>2/01</b> | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|                |             |                |
|----------------|-------------|----------------|
| <b>B 4 1 M</b> | <b>5/00</b> | <b>B</b>       |
| <b>B 4 1 J</b> | <b>3/04</b> | <b>1 0 1 Y</b> |

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の好ましい態様は、

A) ディジタルデータ信号に応答するインクジェットプリンターを用意する工程、

B) 上記プリンターに、上述のインクジェット記録要素を装填する工程、

C) 上記プリンターに、水、湿潤剤、および水溶性染料を含んでなるインクジェットインク組成物を装填する工程、並びに

D) 上記ディジタルデータ信号に応答して上記インクジェットインクを使用して当該画像受容層上に印刷する工程、

を含むインクジェット印刷方法に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

画像記録要素は、他の画像記録製品または画像記録装置の駆動機構もしくは移送機構と接触する場合があるので、例えば、界面活性剤、滑剤、艶消し粒子などの添加剤を、それらが重要な性質を悪化させない程度に添加してもよい。\_

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

インク吸収

インクジェット試料を Hewlett-Packard Deskjet 950C プリンターに装填し、カラーパッチおよび画像からなる、予め集成されたディジタル画像を印刷した。印刷された試料を、プリンターから排出された直後に、高濃度にインクが塗られている領域において、指で擦った。即乾とは、プリントが指触乾燥状態であり、上記指によって擦る行為によって画像が汚れたり、損傷を受けたりしないこととして定義される。上記粒子が塗布後の乾燥時に合体して連続的なフィルムを形成する場合、インクは表面上で液滴を形成し、層に浸透しないであろうし、画像は光学的濃度が低く、擦ることによって容易に汚れるであろう。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

[10] A) ディジタルデータ信号に応答するインクジェットプリンターを用意する工程、

B) 前記プリンターに、[1]に記載のインクジェット記録要素を装填する工程、

C) 前記プリンターに、水、湿潤剤、および水溶性染料を含んでなるインクジェットインク組成物を装填する工程、並びに

D) 前記ディジタルデータ信号に応答して前記インクジェットインクを使用して当該画像受容層上に印刷する工程、

を含むインクジェット印刷方法。